

10月15日～30日

マグネットシートで火災予防啓発 弟子屈消防署と郵便局が連携し火災予防啓発

集配車で火災予防を呼びかけ



弟子屈消防署（池田保土署長）では、10月15日～31日までの全道秋の火災予防運動期間中、町内の弟子屈・川湯・美留和郵便局の協力を得て、火災予防の啓発活動を行いました。町内全域に集配業務を実施している郵便局の集配車12台に「火災予防運動実施中」「住宅用火災警報器設置しましょう！」と書かれた火災予防啓発用のマグネットシートを張り付け、「走る広告塔」として、多くの町民の方に火の用心のPRをしました。

藤原弟子屈郵便局長は「これからも消防署と連携して、火災予防に協力したい」と話していました。

10月13日

まちづくり計画の確実な推進を 町総合計画町民評価委員会から意見書提出

意見書を手渡す上村委員長



町総合計画町民評価委員会（上村剛志委員長）から10月13日、令和4年度町民評価委員会意見書が徳永町長に手渡されました。

町民評価委員会は、第5次弟子屈町総合計画の実施状況などを点検し、町長に対して意見や提言を行います。今回は、令和3年度に行われた町の事務事業を点検し、情報発信の増加、特産品開発の推進、高齢者対策など20項目について提言しました。意見書を受け取った徳永町長は「たいへん貴重な意見をいただいた。これから大きな事業も始まるため、内容を活かしていきたい」と話していました。

10月3日～7日

木に触れて木に学ぶ 2022木育週間を開催

一番人気の木のプール



町では木育の取り組みの一環として、10月3日～7日に木育週間を開催しました。

木育は北海道生まれの取り組みで、子どものころから木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心をはぐくむ活動。森林に囲まれ共生してきた本町にとって大切な取り組みです。

期間中は町林業多目的センターに木のおもちゃや木工に関する本などが用意され、一般開放されました。木馬や木のシーソー、積み木などに、訪れた親子連れや園児たちは歓声を上げていました。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけていきます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

10月19日

将来の運転者としての心構えを学ぶ 弟子屈高校で交通安全教室を開催

飲酒状態での歩行を疑似体験



弟子屈高校（加藤誠校長）で10月19日、秋の交通安全教室が開催されました。

この教室は毎年、愛国自動車学校（釧路市）から講師が招かれ、近い将来に運転者となる高校3年生を対象に、交通事故防止についてさまざまな体験が行われています。クイズ形式での交通安全ルールの確認、動体視力体験、特殊な眼鏡を装着して飲酒状態の疑似体験などを通し、生徒たちは歩行者としてだけでなく、運転者としての交通安全の大切さを学びました。

10月16日

美しい紅葉や名木を巡る 秋の名木ツアーを開催

萩原さんの説明に聞き入る皆さん



町と根釧西部森林管理署が共催する「秋の名木ツアー」が10月16日に行われました。

町内外から19人が参加し、中央1丁目のモミジなど名木11本をバスで巡り鑑賞したほか、川湯ビジターセンター周辺での紅葉や落ち葉の観察など「おとなの遠足」を楽しみました。

北海道認定木育マイスターで、てしかが自然学校代表の萩原寛暢さんによるガイドに、参加者の皆さんは熱心に聞き入り、来年も参加したいとの声が多く寄せられるなど大好評を博しました。

10月8日

公共交通機関を身近に こども向けバスに乗ろう会を開催

乗り方についての説明



弟子屈町地域公共交通活性化協議会（会長・徳永町長）主催による「こども向けバスに乗ろう会」が10月8日に開催され、町内の小学生約20人が参加しました。子どもたちにJRやバスに親しんでもらうことを目的に、同協議会の委員である阿寒バス(株)とJR北海道の協力のもと実施されました。会では町公民館前でバスの乗り方について説明を受けた後、実際にバスに乗り川湯温泉駅まで移動し、同日に川湯温泉駅まで延長運行されていたくしろ湿原ノロッコ号に乗って摩周駅まで帰って来ました。バスの中ではバス内のマナーについてのクイズも行われ、子どもたちは楽しく公共交通について学んでいました。

10月8日

地場産のお菓子やワインでお出迎え くしろ湿原ノロッコ号が川湯温泉駅に入線

にぎわう駅の構内



JR北海道が運行する「くしろ湿原ノロッコ号」が10月8日、川湯温泉駅に入線しました。

くしろ湿原ノロッコ号は、釧路駅から塘路駅まで運行していますが、この日は6月に引き続き川湯温泉駅まで延長運行され、200人以上の方が車窓から雄大な景色を楽しみました。

川湯温泉駅では、町民の方やJA摩周湖のキャラクター牛山豚彦が出迎え、ノロッコ号を見ようと多くの観光客の方も訪れました。駅の構内では地場産のお菓子の販売や町産ブドウを100%使用したワイン「葡萄酒色の旦（えびいろのよあけ）」の試飲、近くの観光名所へ行けるようレンタルサイクルなども行われ、たくさんの人たちでにぎわいました。

10月26日

森林について理解を深める 森林教室を開催 | 美留和小学校

木の違いを覚



釧路総合振興局による森林教室が、10月26日、美留和小学校（佐藤義行校長）で行われました。

児童たちに美留和地域ならではの自然を学んでもらうことを目的に開催され、釧路総合振興局森林室普及課の職員3人が講師として来校。人工林と天然林の違いについて学んだ後、実際に美留和地区にある森林の中へ入りました。児童たちは人工林と天然林での木の種類、大きさ、地面の状態の違いなどに注目をしながら森林探索をしました。学校に戻ると、それぞれ見つけた特徴を一人ひとり発表し合い、森林に対する知識を深めていました。

10月23日

日頃の訓練の成果を披露 弟子屈町消防団の秋季演習開催

はしこ車を使用した訓練



令和4年度弟子屈町消防団秋季演習が10月23日、川湯消防庁舎前と川湯観光ホテルで行われました。

同演習は消防団員の技術向上と地域住民の防火意識高揚のため毎年行われているものです。令和3年3月に弟子屈・川湯消防団が統合し、同年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったことから、今年が弟子屈町消防団としての初めての開催。消防職員や消防団員、関係者など約70人と消防車両が参加。観閲式や分列行進、総合訓練などを行い、日ごろの訓練の成果を披露しました。参加者は演習を通して、防火意識を新たにしていました。

10月11日

地域の安全を守る 青色防犯パトロール隊出発式

青色回転灯を点灯して出発



弟子屈警察署（井元秀樹署長）では、全国地域安全運動が始まった10月11日、青色防犯パトロール隊の出発式が行われました。

この運動は20日まで行われ、「特殊詐欺被害の防止」「子どもと女性の犯罪被害防止」を重点とし、同隊はパトロールの実施で地域の方の防犯意識を高めることを目的としています。式には井元署長をはじめとした署員と、弟子屈、標茶両町の自主防犯パトロール隊、役場などから約20人が参加。

井元署長らに見送られ、青色回転灯を点灯した同隊の車はパトロールへ向かいました。

10月11日

地元食材をもっと美味しく 食文化部会がジャガイモのパネルを作成

小洞店長(右)と木名瀬部長(左)



えこまち推進協議会食文化部会（木名瀬佐奈枝部長）の皆さんが町産ジャガイモの特徴をまとめたパネルを作成し、道の駅「摩周温泉」直売所への

引き渡しが行われました。パネルは町産ジャガイモの活用を目的とし作成され、品種それぞれの肉質や保存性などが記載されています。町産ジャガイモを取り扱う道の駅とJA摩周湖に掲示されました。当日は木名瀬部長から小洞店長にパネルが手渡され、木名瀬部長は「今年は新しいことに挑戦した。美味しいジャガイモをもっと美味しく食べてもらいたい」と話していました。